

安曇野市子育て支援に関するアンケート調査 ＜速報版＞

本速報版は、主に回答者の属性・世帯の状況・就労状況について、前回調査時からの変化を確認できるように分析したものである。幼児期の保育・教育に対するニーズについては、次の報告書において掲載する。また、本速報版では、相対的貧困世帯の基準を算出している。貧困が子どもの成育環境にどのような影響を与えているかを把握するクロス集計についても、次の報告書において掲載する。

1 調査の概要

(1) 調査期間

令和5年12月8日(金)～12月28日(木)

(2) 調査対象

住民基本台帳を用いて、まず、令和5年4月1日現在で0～10歳の子どもがいる世帯を抽出した。次に、兄弟・姉妹がいる世帯では、下の子どもを選び、年齢・地域に偏りがでないように、下記の人数を抽出した。

①就学前児童の保護者:1,600人(うち就園児1250人、未就園児350人)

②就学児童の保護者 :1,000人

(3) 実施方法

いずれの調査においても、紙の調査票とWEB回答フォームを用意。

就園児には園配布で依頼。未就園児と就学児童は、調査票を郵送し、回答を依頼した。

(4) 回収率・回答率

回収数及び回答率は以下の通り。前回(H30)年よりも就学前児童では微減であるが小学生では回答率が上昇している。

調査対象		配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率	(参考) H30 回収率
就学前 児童	就園児	1,250	1,272	79.5%	1,259	78.7%	81.2%
	未就園児	350					
小学生		1,000	654	65.4%	643	64.3%	58.7%

(5) 留意事項

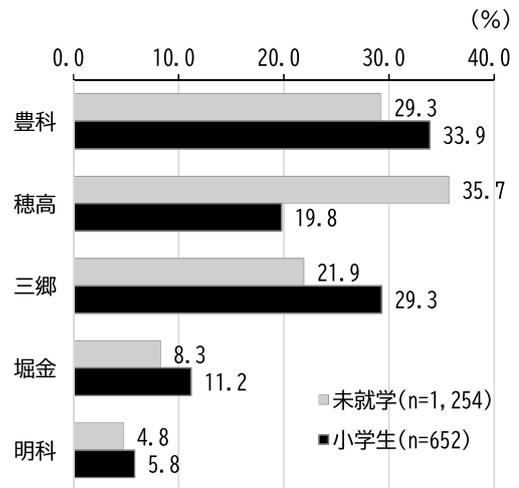
- ・ 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入している。そのため、単数回答であっても合計が100.0%にならない場合がある。
- ・ 図表中の「n」はNumber of caseの略で、「n=」は該当質問の回答者数を表す。なお、無回答の処理によって、回答者数が異なる場合がある。

2 調査結果（速報）

（1）回答者の属性と前回調査との変化

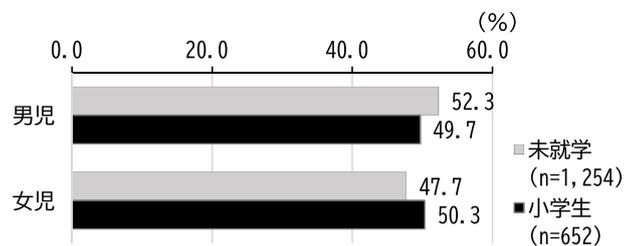
①居住地

	未就学(n=1,254)		小学生(n=652)	
	度数(人)	割合(%)	度数(人)	割合(%)
豊科	367	29.3	221	33.9
穂高	448	35.7	129	19.8
三郷	275	21.9	191	29.3
堀金	104	8.3	73	11.2
明科	60	4.8	38	5.8
合計	1,254	100.0	652	100.0



②子どもの性別

	未就学(n=1,254)		小学生(n=652)	
	度数(人)	割合(%)	度数(人)	割合(%)
男児	656	52.3	324	49.7
女児	598	47.7	328	50.3
合計	1,254	100.0	652	100.0

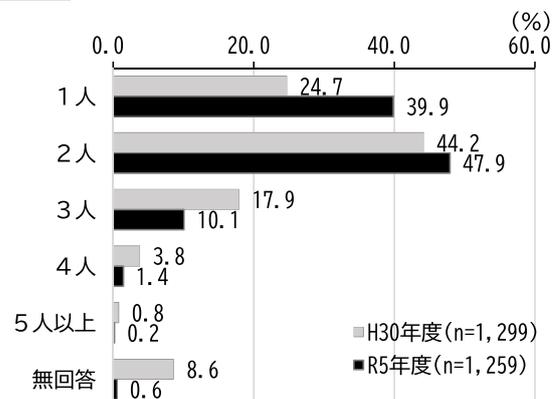


③子どもの人数

前回よりも「1人」の割合が増えている。

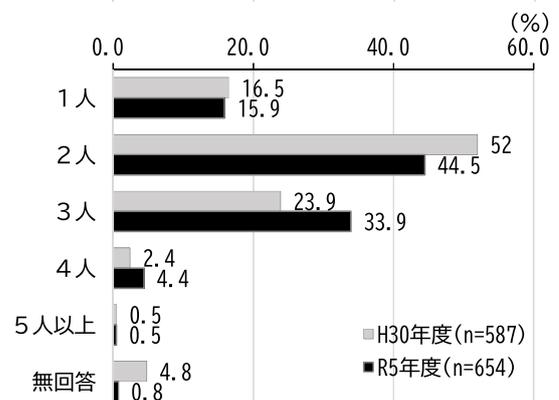
【「就学前児童」対象 前回比較】

	H30年度 (n=1,299)	R5年度 (n=1,259)
1人	24.7	39.9
2人	44.2	47.9
3人	17.9	10.1
4人	3.8	1.4
5人以上	0.8	0.2
無回答	8.6	0.6



【「小学生」対象 前回比較】

	H30年度 (n=587)	R5年度 (n=654)
1人	16.5	15.9
2人	52	44.5
3人	23.9	33.9
4人	2.4	4.4
5人以上	0.5	0.5
無回答	4.8	0.8

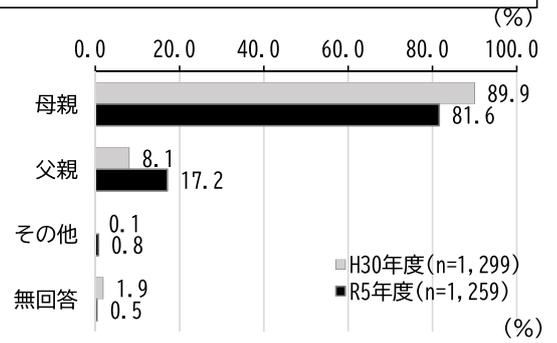


④回答者の性別

未就学、小学生ともに前回よりも「父親」の割合が増えている。

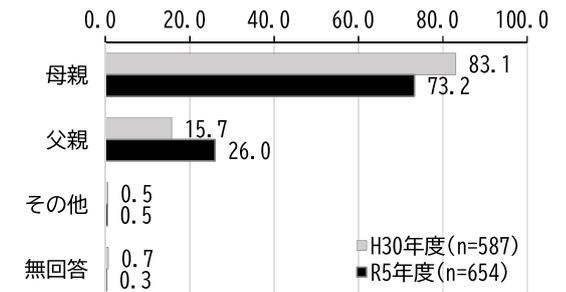
【「就学前児童」対象 前回比較】

	H30年度 (n=1,299)	R5年度 (n=1,259)
母親	89.9	81.6
父親	8.1	17.2
その他	0.1	0.8
無回答	1.9	0.5



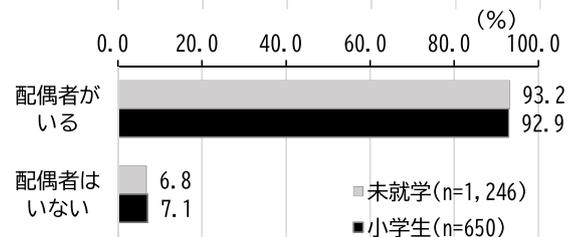
【「小学生」対象 前回比較】

	H30年度 (n=587)	R5年度 (n=654)
母親	83.1	73.2
父親	15.7	26.0
その他	0.5	0.5
無回答	0.7	0.3



⑤配偶者の有無

	未就学		小学生	
	度数 (人)	割合 (%)	度数 (人)	割合 (%)
配偶者がいる	1,161	93.2	604	92.9
配偶者がいない	85	6.8	46	7.1
合計	1,246	100.0	650	100.0

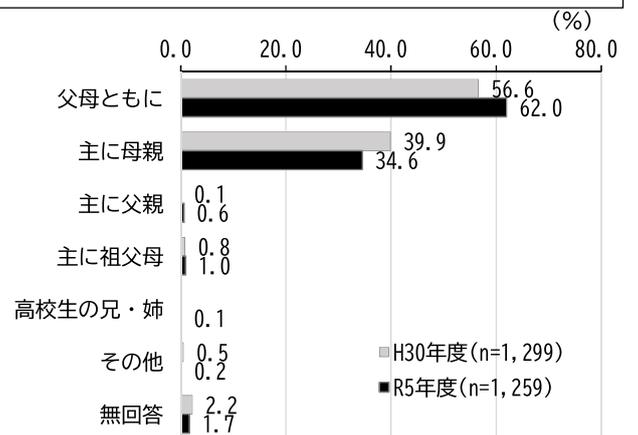


⑥子育てを主に行っている人

未就学、小学生ともに、前回よりも「父母ともに」の割合が増えている。

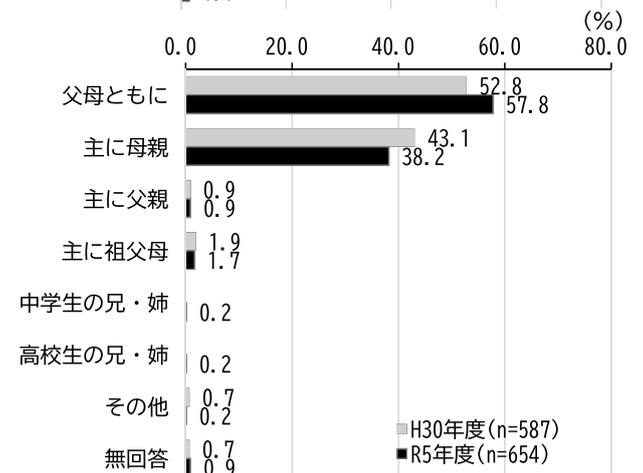
【「就学前児童」対象 前回比較】

	H30年度 (n=1,299)	R5年度 (n=1,259)
父母ともに	56.6	62.0
主に母親	39.9	34.6
主に父親	0.1	0.6
主に祖父母	0.8	1.0
高校生の兄・姉	-	0.1
その他	0.5	0.2
無回答	2.2	1.7



【「小学生」対象 前回比較】

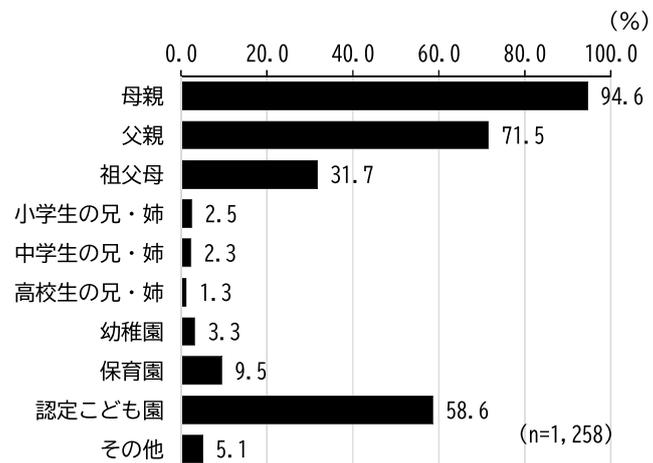
	H30年度 (n=587)	R5年度 (n=654)
父母ともに	52.8	57.8
主に母親	43.1	38.2
主に父親	0.9	0.9
主に祖父母	1.9	1.7
中学生の兄・姉	-	0.2
高校生の兄・姉	-	0.2
その他	0.7	0.2
無回答	0.7	0.9



⑧日頃、お子さんを見てもらえる人や施設

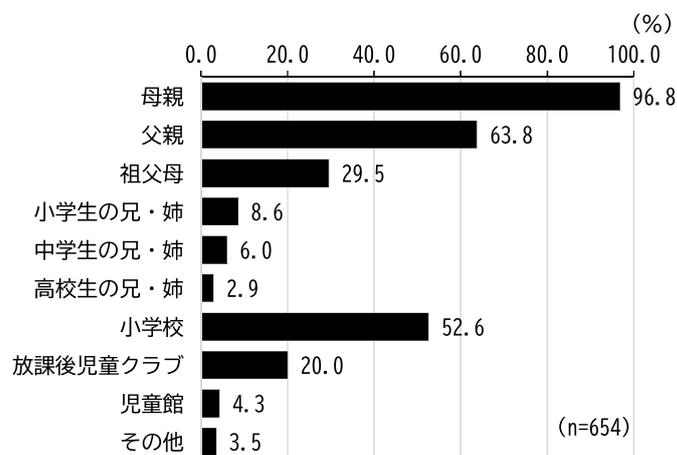
【「就学前児童」対象】

	度数 (人)	割合 (%)
母親	1,190	94.6
父親	900	71.5
祖父母	399	31.7
小学生の兄・姉	32	2.5
中学生の兄・姉	29	2.3
高校生の兄・姉	16	1.3
幼稚園	41	3.3
保育園	119	9.5
認定こども園	737	58.6
その他	64	5.1
回答者数	1,258	



【「小学生」対象】

	度数 (人)	割合 (%)
母親	633	96.8
父親	417	63.8
祖父母	193	29.5
小学生の兄・姉	56	8.6
中学生の兄・姉	39	6.0
高校生の兄・姉	19	2.9
小学校	344	52.6
放課後児童クラブ	131	20.0
児童館	28	4.3
その他	23	3.5
回答者数	654	



⑦収入

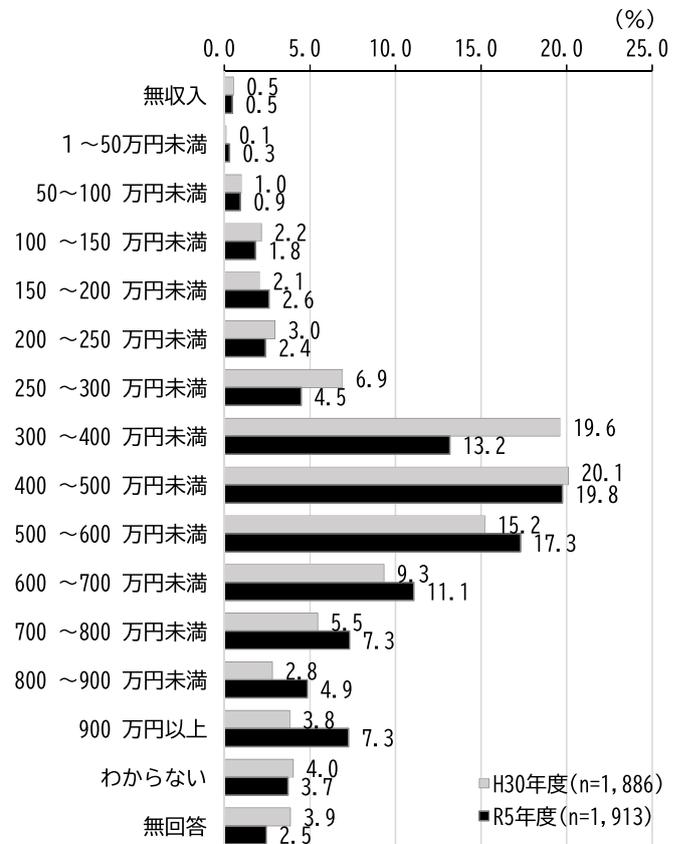
【「就学前児童」と「小学生」対象の合算】

1) 世帯所得の分布と前回比較

前回よりも世帯所得があがっている。

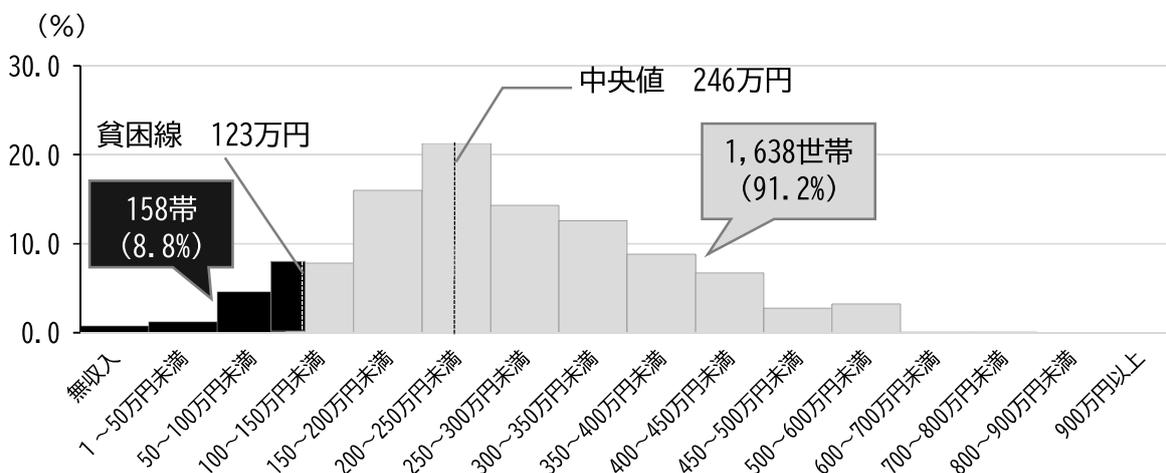
	H30年度 (n=1,886)	R5年度 (n=1,913)
無収入	0.5	0.5
1～50万円未満	0.1	0.3
50～100万円未満	1.0	0.9
100～150万円未満	2.2	1.8
150～200万円未満	2.1	2.6
200～250万円未満	3.0	2.4
250～300万円未満	6.9	4.5
300～400万円未満	19.6	13.2
400～500万円未満	20.1	19.8
500～600万円未満	15.2	17.3
600～700万円未満	9.3	11.1
700～800万円未満	5.5	7.3
800～900万円未満	2.8	4.9
900万円以上	3.8	7.3
わからない	4.0	3.7
無回答	3.9	2.5

※比較をするため、前回の選択肢に合わせて集計している。



2) 安曇野市の相対的貧困世帯の推定

- OECDの相対的貧困率の定義に基づいて算出。相対的貧困率は、世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で調整した所得（等価可処分所得）の中央値（所得を多い順に並べた時にちょうど真ん中に来る値）の半分に満たない世帯員の割合。
- なお、今回は、未就学児童と小学生の両方の回答をあわせて算出している。



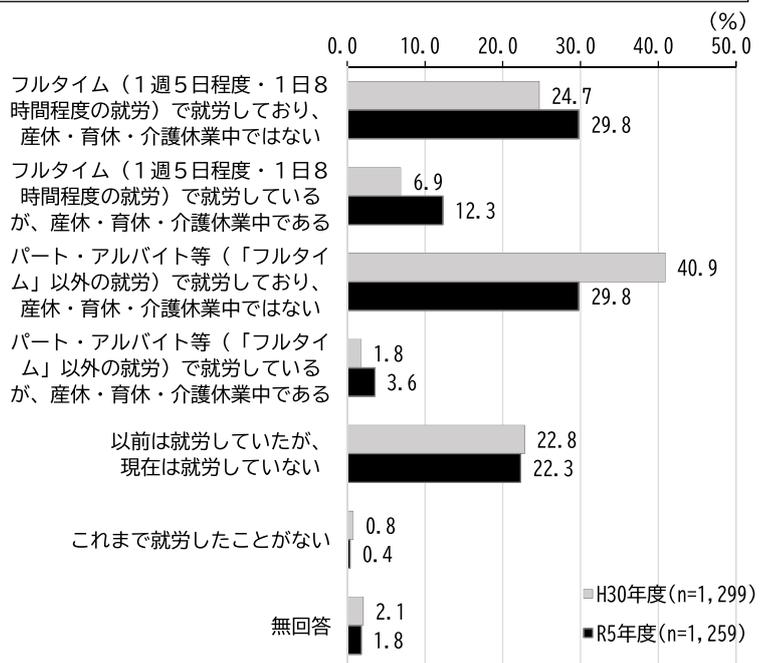
⑨就労状況

1) 母親

未就学、小学生ともに前回よりも「フルタイム」の割合が増えている。

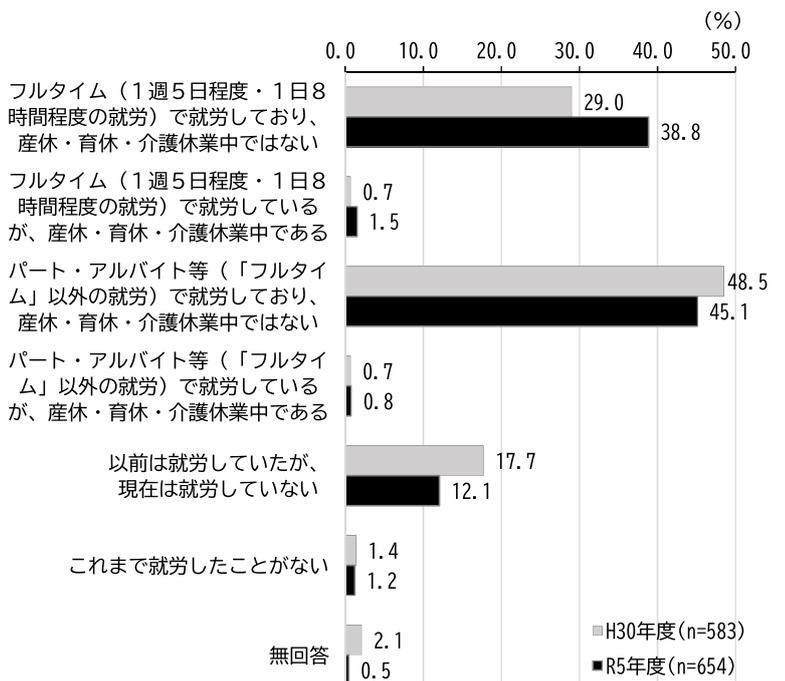
【「就学前児童」対象 前回比較】

	H30年度 (n=1,299)	R5年度 (n=1,259)
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	24.7	29.8
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6.9	12.3
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	40.9	29.8
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1.8	3.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	22.8	22.3
これまで就労したことがない	0.8	0.4
無回答	2.1	1.8



【「小学生」対象 前回比較】

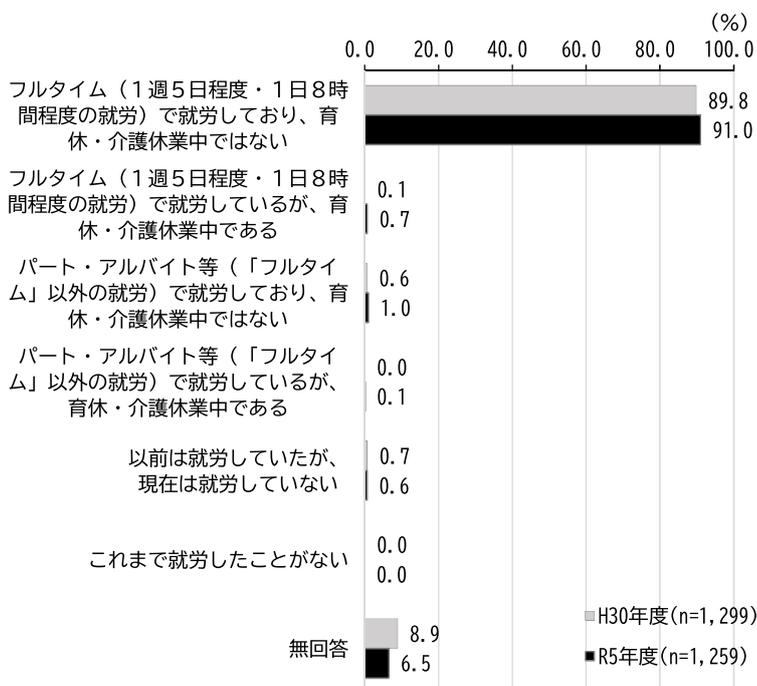
	H30年度 (n=583)	R5年度 (n=654)
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	29.0	38.8
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0.7	1.5
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	48.5	45.1
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0.7	0.8
以前は就労していたが、現在は就労していない	17.7	12.1
これまで就労したことがない	1.4	1.2
無回答	2.1	0.5



2) 父親

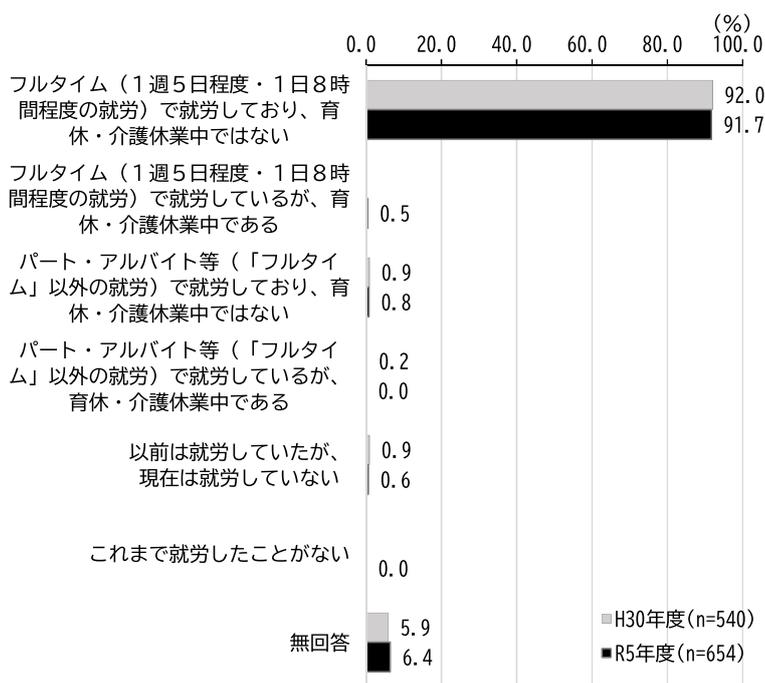
【「就学前児童」対象 前回比較】

	H30年度 (n=1,299)	R5年度 (n=1,259)
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	89.8	91.0
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	0.1	0.7
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	0.6	1.0
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	0.0	0.1
以前は就労していたが、現在は就労していない	0.7	0.6
これまで就労したことがない	0.0	0.0
無回答	8.9	6.5



【「小学生」対象 前回比較】

	H30年度 (n=540)	R5年度 (n=654)
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	92.0	91.7
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	0.0	0.5
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	0.9	0.8
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	0.2	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	0.9	0.6
これまで就労したことがない	0.0	0.0
無回答	5.9	6.4



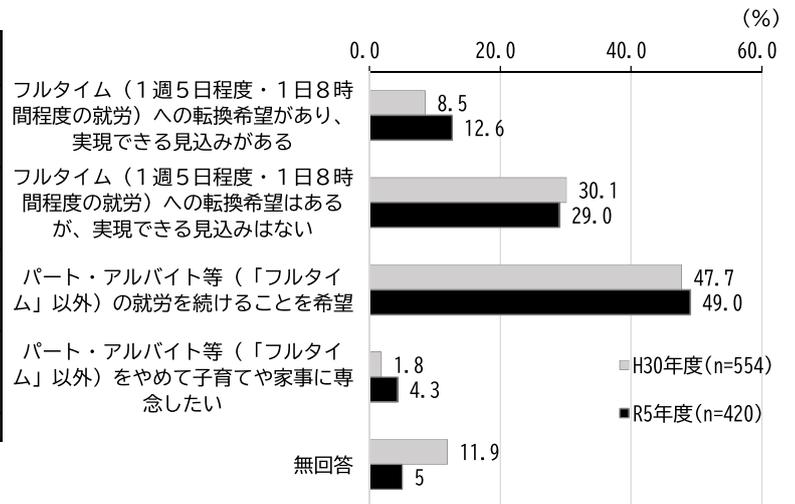
⑩パート・アルバイト等で就労している者のフルタイムへの転換希望

1) 母親

未就学、小学生ともに前回よりも「フルタイム」の希望割合が増加傾向にある。

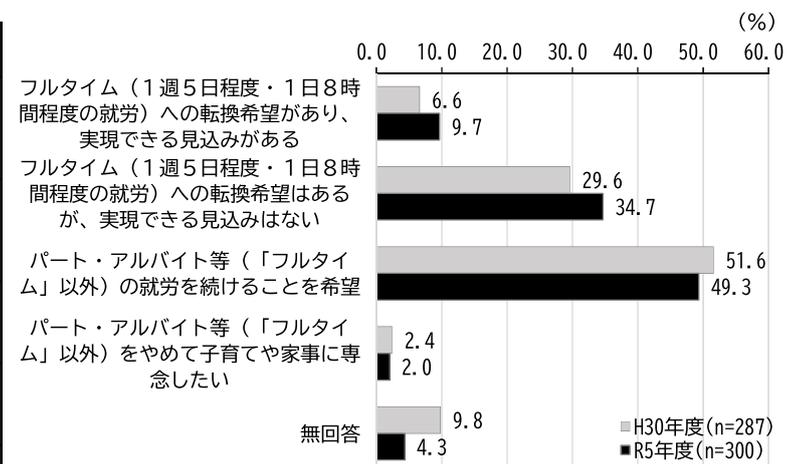
【「就学前児童」対象 前回比較】

	H30年度 (n=554)	R5年度 (n=420)
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	8.5	12.6
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	30.1	29.0
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	47.7	49.0
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	1.8	4.3
無回答	11.9	5



【「小学生」対象 前回比較】

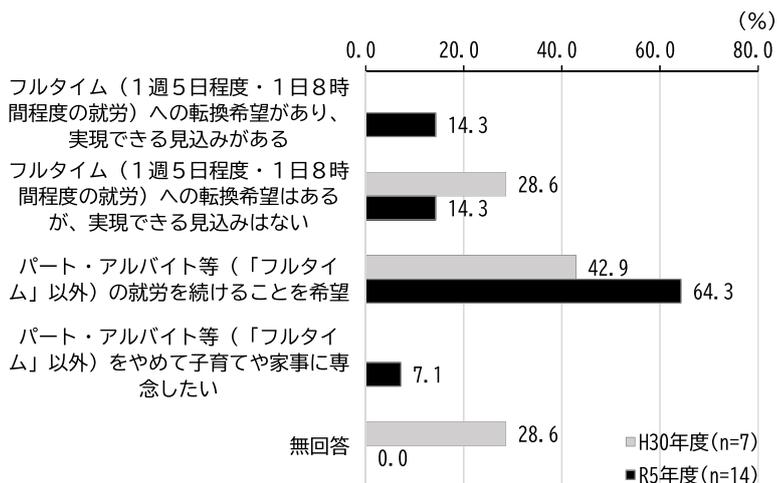
	H30年度 (n=287)	R5年度 (n=300)
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	6.6	9.7
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	29.6	34.7
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	51.6	49.3
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	2.4	2.0
無回答	9.8	4.3



2) 父親

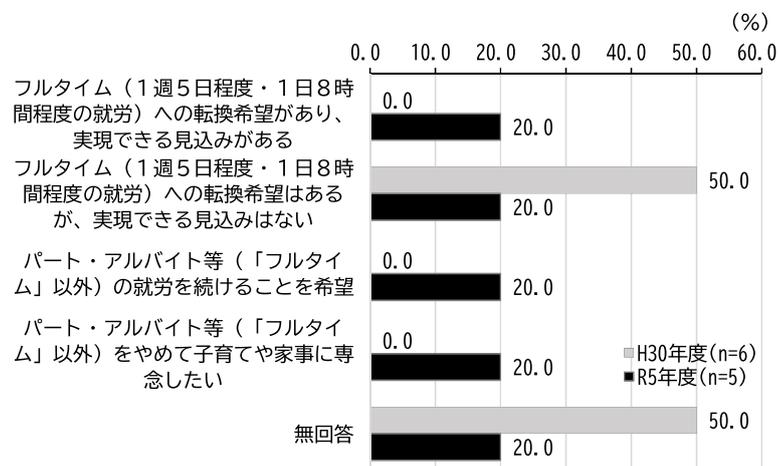
【「就学前児童」対象 前回比較】

	H30年度 (n=7)	R5年度 (n=14)
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	-	14.3
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	28.6	14.3
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	42.9	64.3
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	-	7.1
無回答	28.6	0.0



【「小学生」対象 前回比較】

	H30年度 (n=6)	R5年度(n=5)
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	0.0	20.0
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	50.0	20.0
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	0.0	20.0
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	0.0	20.0
無回答	50.0	20.0

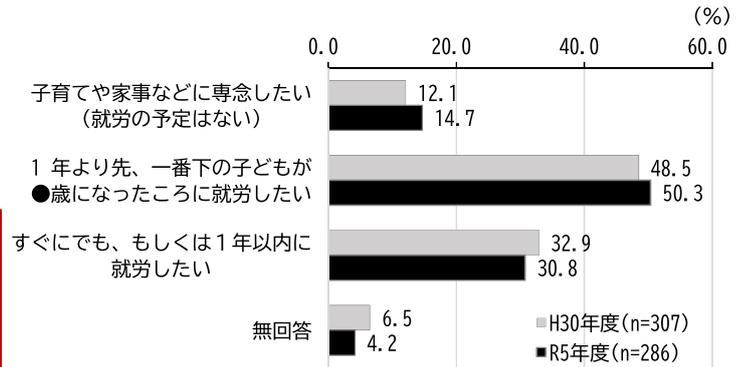


⑪現在就労していない者の就労希望(母親)

未就学、小学生ともに前回よりも就労を希望する割合が増加傾向にあり、就労希望時の子どもの年齢は「2～3歳」が多い。

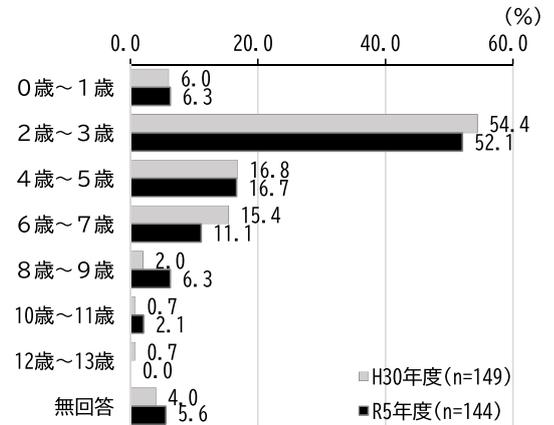
【「就学前児童」対象 前回比較】

	H30年度 (n=307)	R5年度 (n=286)
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	12.1	14.7
1年より先、一番下の子どもが●歳になったころに就労したい	48.5	50.3
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	32.9	30.8
無回答	6.5	4.2



就労希望する時の子どもの年齢

	H30年度 (n=149)	R5年度 (n=144)
0歳～1歳	6.0	6.3
2歳～3歳	54.4	52.1
4歳～5歳	16.8	16.7
6歳～7歳	15.4	11.1
8歳～9歳	2.0	6.3
10歳～11歳	0.7	2.1
12歳～13歳	0.7	-
無回答	4.0	5.6



⑫父親・母親の育児休業・休暇の取得状況

1) 母親

未就学において、前回よりも「働いていなかった」とする割合が大きく減っている。育児休暇を「取得した（取得中である）」とする割合が増えたが、「取得していない」とする割合も増えている。取得していない理由として「退職した」が最も多いが、「有期雇用のため取得要件を満たさなかった」が大きく増えている（パートで働きに出る母親の割合が高くなったことが要因と考えられる）。

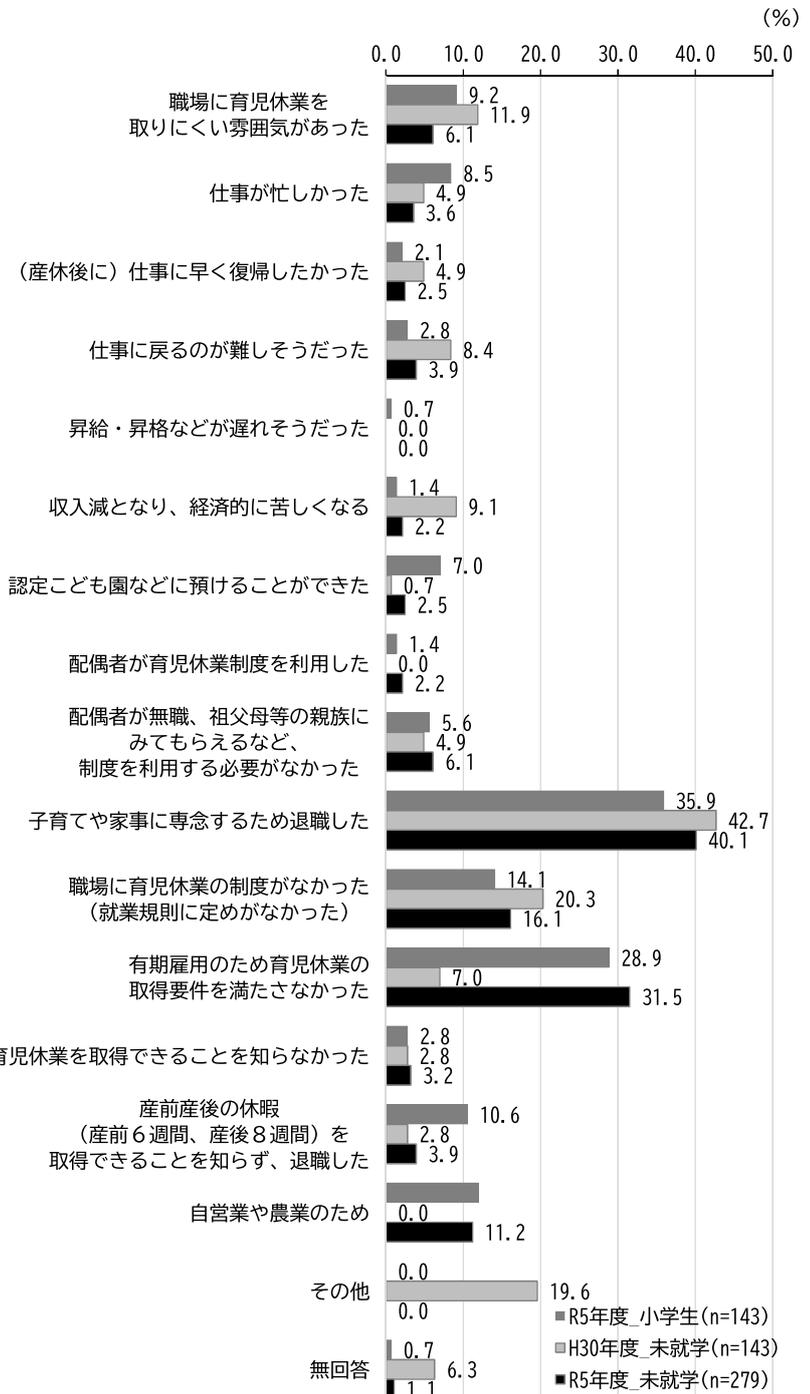
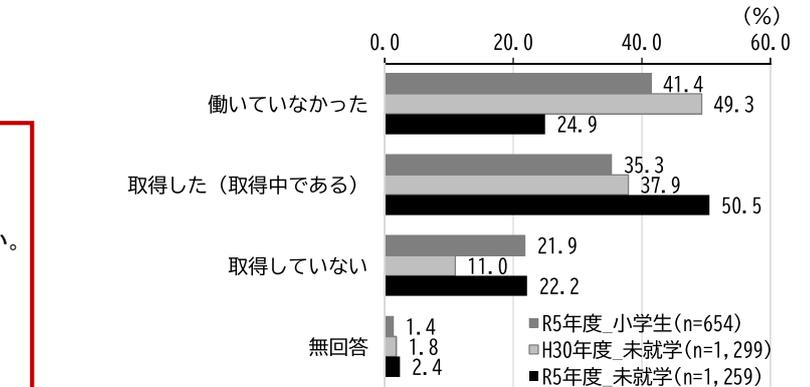
	R5年度_小学生 (n=654)	H30年度_未就学 (n=1,299)	R5年度_未就学 (n=1,259)
働いていなかった	41.4	49.3	24.9
取得した（取得中である）	35.3	37.9	50.5
取得していない	21.9	11.0	22.2
無回答	1.4	1.8	2.4

※比較をするため、前回調査の選択肢に合わせて集計している。

小学生対象の調査は前回調査では聞いていないため、比較できない。

育児休業を取得していない理由

	R5年度_小学生 (n=143)	H30年度_未就学 (n=143)	R5年度_未就学 (n=279)
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	9.2	11.9	6.1
仕事が忙しかった	8.5	4.9	3.6
(産休後に) 仕事に早く復帰したかった	2.1	4.9	2.5
仕事に戻るのが難しそうだった	2.8	8.4	3.9
昇給・昇格などが遅れそうだった	0.7	0.0	0.0
収入減となり、経済的に苦しくなる	1.4	9.1	2.2
認定こども園などに預けることができた	7.0	0.7	2.5
配偶者が育児休業制度を利用した	1.4	0.0	2.2
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	5.6	4.9	6.1
子育てや家事に専念するため退職した	35.9	42.7	40.1
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	14.1	20.3	16.1
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	28.9	7.0	31.5
育児休業を取得できることを知らなかった	2.8	2.8	3.2
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	10.6	2.8	3.9
自営業や農業のため	12.0	-	11.2
その他	0.0	19.6	0.0
無回答	0.7	6.3	1.1



2) 父親

未就学において、前回よりも育児休暇を「取得した（取得中である）」とする割合が増えている。
取得していない理由としては、「配偶者が制度を取得した」が最も多くなっている。

	R5年度_小学生 (n=654)	H30年度_未就学 (n=1,299)	R5年度_未就学 (n=1,181)
働いていなかった	1.5	0.9	1.1
取得した（取得中である）	3.7	2.1	10.6
取得していない	89.8	88.1	81.7
無回答	5.0	8.9	6.6

※比較をするため、前回調査の選択肢に合わせて集計している。

小学生対象の調査は前回調査では聞いていないため、比較できない。

育児休業を取得していない理由

	R5年度_小学生 (n=654)	H30年度_未就学 (n=1,145)	R5年度_未就学 (n=1,029)
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	21.9	29.0	25.9
仕事が忙しかった (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	26.9	34.8	29.3
仕事に戻るのが難しそうだった	5.9	3.7	5.9
昇給・昇格などが遅れそうだった	6.7	3.4	6.6
収入減となり、経済的に苦しくなる	23.5	30.9	26.5
認定こども園などに預けることができた	6.7	1.1	3.0
配偶者が育児休業制度を利用した	30.9	25.9	43.8
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	53.4	32.4	40.0
子育てや家事に専念するため退職した	0.7	0.3	0.4
職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	15.9	10.6	13.6
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	0.3	0.5	1.0
育児休業を取得できることを知らなかった	5.5	1.6	3.6
産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	0.0	0.2	0.2
自営業や農業のため	8.1	-	8.4
その他	0.0	6.6	0.0
無回答	1.4	6.9	1.3

